



木暮伸也 《鏡田_080726》 2008年 アーツ前橋蔵



幸田千依 《水路はつづくよどこまでも》 2014年 アーツ前橋蔵

古墳は市内各所に

総社古墳群

- 総社古墳群最古の古墳
遠見山古墳 (総社町総社1410)
見事な葺石と初期の横穴式石室
王山古墳 (大渡町1-6-1)
- 石室が2つある大型前方後円墳
総社二子山古墳 (総社町植野368)
- 巨石を積んだ石室は必見!
愛宕山古墳 (総社町総社1763)
- 家形石棺が見どころの大型方墳
宝塔山古墳 (総社町総社1606)
- 工人の技術の粋を集めた石室
蛇穴山古墳 (総社町総社1587-2)
- 総社地区の歴史を学べる
総社歴史資料館 (総社町総社1584-1)



蛇穴山古墳の石室入り口



宝塔山古墳の家形石棺

榛名山の東南麓に広がる総社古墳群。3基の大型方墳は墳丘の規模や石室、石棺から東国を代表する古墳群です。上野三碑のひとつである山上碑と関係する山王廃寺と深い関係をもっています。

朝倉・広瀬古墳群

- 東日本最大規模の前方後方墳
八幡山古墳 (朝倉町四丁目9-3)
- 出土品が多く見つかった
天神山古墳 (広瀬町一丁目27-7)
- 古墳群南端に並ぶ2つの古墳
文殊山古墳・阿弥蛇山古墳 (山王町77)
- 亀のかたちに見える!?
亀塚山古墳 (山王町一丁目28-3)
- 萩原朝太郎の詩にも登場する前方後円墳
天川二子山古墳 (文京町三丁目26)
- 出土した冠が名前の由来
山王金冠塚古墳 (山王町一丁目13-3)



山王金冠塚古墳の金冠 (東京国立博物館所蔵)



天神山古墳の三角縁四神四獣鏡



天神山古墳の穿孔壺

4世紀から7世紀までの400年にわたって前橋台地に位置する場所につくられた朝倉・広瀬古墳群。昭和10年の調査では154基があったと記録されています。中でも、天神山古墳では重要文化財に指定されている副葬品が多く見つかっています。



昨年の様子

歩いて巡る城南地区

文化財探訪「城南地区の古墳と産泰神社」を開催。大室神社や伊勢山古墳、産泰神社、荒砥富士山古墳などを巡ります。

日時 12月6日(日)9時～15時

対象 一般、15人

申し込み 11月13日(金) (必着)までにハガキで(1人1通)。住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入し、〒371-0853 総社町三丁目11-4・文化財保護課 (☎027-280-6511)へ

場所の現在や過去を表現

企画展「場所の記憶」

問 アーツ前橋 ☎027-230-1144

アーツ前橋で企画展「場所の記憶」を開催。福田昭太郎や山口薫など地域の風景を描いた作品や地域アートプロジェクト、滞在制作事業の作家が制作した前橋がテーマの作品など、アーツ前橋の収蔵作品を中心に展示します。

日時=来年3月21日(日)まで(水曜・年末年始を除く)、10時～18時(入場は17時30分まで。)

参加作家=有村真鐵、石内都、岩崎孝、小見辰男、加藤アキラ、金子英彦、中村一美ほか



山口薫 《沼のある牧場》 1964年 アーツ前橋蔵



白川昌生 《想起の形》 2004年 アーツ前橋蔵